



元国際会長
キャンペーン 100 国際委員長

山田 實純

祝 辞

地区年次大会にお集まりの皆様

この度、貴地区の年次大会が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

地区年次大会は、一年の総括として活動を振り返り、成し遂げたことを称える地区最大の行事であるとともに、すべてのクラブにとってその意思を示すことが出来る、意思決定を行う場でもあります。クラブを代表する代議員の皆様は、積極的に議論や投票に参加し、年次大会をより良い地区活動のために実りある場としていただきたいと願っています。

本年度は、アレキサンダー国際会長の「心からの奉仕」というメッセージのもと、多くのクラブが身近にあるニーズに応え、地域社会をより良い場所にするべく活動されました。また、LCIFのキャンペーン 100 最終年ということで、多くの会員の皆様から寄付によるご支援をいただきました。ケンタッキーでの竜巻など、世界各地で発生した災害に対するたくさんのクラブからのご支援は、「財団への寄付を通して世界中のライオンズクラブとつながり、世界中の友人たちに手を差し伸べる」という私たちの理念をまさに体現するものでした。皆様のご支援を誇りに思うとともに、キャンペーン国際委員長として、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症は引き続き今年度も猛威を振るい、ライオンズクラブの活動にも大きな制約となりました。会員お一人お一人が様々なかたちで影響を被り、ご苦労されたことと思います。

また、コロナ禍での生活は、これまで当たり前享受してきたことを改めて見直す機会ともなりました。私たちの社会には、まだまだ満たされていないニーズと助けを必要とする人々がいます。そのニーズを満たすため、私たちライオンズの活動はこれまで以上に重要です。また、例会や集会が持てない日々の中、ライオンズ活動を通じた友人の大切さを再認識された方々も少なくないことと思います。

これからも、さらに仲間を増やし、楽しみながら、奉仕を推進してまいりましょう。

最後となりましたが、貴地区年次大会のご成功と会員お一人お一人のご多幸をお祈り申し上げます。